



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS
THE Y'S MEN'S CLUB OF GOTEMBA
CHARTERED 1986.4.7

2025
5
No.465

第1例会: 毎月第2木曜日18:30~ 第2例会: 毎月第4木曜日18:30~ 会場: YMCA東山荘 TEL: 0550-83-1133/FAX: 0550-83-1138
〒412-0024 静岡県御殿場市東山1052(公財)日本YMCA同盟国際青少年センター東山荘 URL <http://www.ymcajapan.org/tozanso/>
OFFICE: YMCA TOZANSO 1052 Higashiyama Gotemba Japan 412-0024 E-MAIL: tozanso@ymcajapan.org

会長: 杉山 博恵 副会長: 杉山 将己 書記: 小野麻利子 会計: 山本 光子 監事: 杉山 将己



国際会長主題 "Together for a Better World" 「より良い世界のために、共に」

アジア地域会長主題 "Be the light for change" 「変革のための光となろう」

東日本区理事主題 「ワイズの方向を見極める」

富士山部部長主題 「たゆたえども沈まず」

御殿場クラブ会長主題 「活発な奉仕活動によりワイズの理念を広めよう」

御殿場クラブ活動方針

1. 東山荘と共に地域奉仕活動を行う。
2. 会員相互の親睦を図り、信頼関係の構築をなす。
3. 健全なる青少年の為に、YMCAと共に力を注ぐ。
4. DBCを始めとする他クラブとの交流を促進する。
5. EMC増強によるメンバーとクラブの強化を目指す。



2025年5月度例会プログラム

- | | | |
|-------------------|---------|---------|
| | 司会 | 山本光子Y,s |
| 1. 開会の言葉 | 司会 | |
| 2. 開会点鐘 | 杉山博恵会長 | |
| 3. ワイズソング | 一同 | |
| 4. ワイズの信条 | 一同 | |
| 5. 会長挨拶 | 杉山博恵会長 | |
| 6. ゲストビジター紹介 | 杉山博恵会長 | |
| 7. 聖句について | 森田義彦Y,s | |
| 8. 食前感謝 | 佐野恵美Y,s | |
| 9. 食事 | | |
| 10. 3分間スピーチ | 全員 | |
| 11. 誕生日・結婚祝い | 各自 | |
| 12. スマイル・YMCA基金報告 | 山本光子Y,s | |
| 13. 閉会の言葉 | 司会 | |
| 14. 閉会点鐘 | 杉山博恵会長 | |

《今月の聖句》

マタイによる福音書28章 1・2節

さて、安息日が終わって週の初めの日明け方に、
マグダラのマリアともう一人のマリアが墓を見に
行った。すると、大きな地震が起こった。
主の天使が天から降って近寄り、石を
わきへ転がし、その上に座ったのである。

《聖書の意味》

キリスト教では復活祭としてキリストの
よみがえりを祝う習慣がある。
イースターと呼ばれている。十字架にはりつけ、
処刑されたイエスが蘇った時とされている。



5月お誕生日 おめでとうございます！

6日 森田公子 パートナー



5月結婚記念日の方 おめでとうございます！

【BFだより】

- ・ビールやジュースを飲んだら
プルタブを外しましょう！
- ・手紙が来たら切手を切り取りましょう！



【4月例会報告】

在籍数	14名	メネット	0名	スマイル報告	10,000
出席者	11名	コメント	0名	スマイル累計	818,513
メーキャップ	名	ゲスト	2名	YMCA基金	1,675
出席率	79%	ビジター	0名	YMCA累計	247,210
修正出席率	%	出席者		BF活動切手	
		合計	13名		

4月例会報告

若林 久美子

4月10日、遅い桜が満開の中、4月の第一例会が開会されました。

今月の聖句は、森田所長さんより「どんなことでも思い、祈りをささげた後、気持ちが落ち着きます。4月は新しい年度です。思い煩うより楽しんでいきましょう」とお話がありました。食前感謝も森田所長のお祈りで皆さんいただきました。

クラムチャウダー・牛肉の赤ワイン煮・チョコレートプリンでした。いつも季節のお野菜が添えられていますが、今回は春菊の天ぷらと竹の子のソテーが春を感じさせてくれました。さすがですね！どれもとっても美味しかったー！

続いて今月の卓話です。「海運業の日本郵船が森林事業に着手した理由」と題して、ゆうのもり管理事務所の興田智様にご講演いただきました。国土の森を占める割合がフィンランドに次いで世界第2位の日本は、国土の67%が森だそうです。昭和39年以降、国産の木材の値が下がり、国産の木があまり使われないことから、放置され、荒廃した森が増えてしまったそうです。中でも針葉樹(杉やひのき)が多いということが土砂災害や花粉症という悪影響を及ぼしています。

その荒廃した森を、地主の許可を得て、ドングリなどの木の実がなる広葉樹に植え替え、陽を入れることで草木が生い茂り、動植物を増やすことで生態系豊かな森をよみがえらせるという活動をボランティアで行っているそうです。

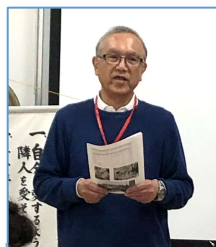
森が豊かであることが、川や海を豊かにします。森の木は切って使われて、また植えて、というサイクルが大切で、そのサイクルを守ることで、森や海、そして地球を守ることにつながる素晴らしい活動です。

この100年プロジェクトに御殿場市も協力し、テーマを「木育」として子どもたちに伝えていくことに力を入れているそうです。ゆうのもりは箱根に行く途中にあり、テラスがあるそうです。ぜひ、ワイズのみなで景色を眺めてお茶を飲みに行きたいですね。土日はボランティアの皆さんが集い、活動しているそうです。この素晴らしい活動に、御殿場ワイズメンズクラブも何かお手伝いさせていただきたいですね。

4月のお誕生日は佐野恵美さん。いつもパツと咲いたお花のように明るい佐野さん、4月にピッタリ！おめでとうございます！出席者11名・ゲスト2名・出席率79%・スマイル1万円・YMCA 1,675円。実り多い4月の例会でした。



杉山会長 挨拶



森田Y.sの聖句



今日のメイン



ゆうのもりプロジェクトの卓話



ゆうのもり
興田 様



卓話御礼



佐野Y.s
お誕生日
おめでとう

W 4 W 週間

4月5日(土)、桜が咲き始め、春風が心地いい陽気の中、東山荘周辺のごみ拾いを行いました。
一見ゴミがあまり目立たないように見えて、植え込みのかげや林の中などはポイ捨てされたゴミでいっぱいです。
草木をかき分けゴミを拾い、1時間ほどで4kgものゴミが集まりました。



第14回 障がい者フライングディスク大会

4月19日(土)、富士五湖クラブ主催の「第14回 障がい者フライングディスク大会」が開催されました。
御殿場クラブからは杉山会長・前原Y,s・小野Y,sがボランティアとして参加し、「バンザイ隊」として、競技を終えた方々にメダルや参加賞をお渡しし、バンザイと拍手で讃えました。会場は大勢の参加者であふれ、大いに盛り上がりました。
富士五湖クラブの皆さま、お疲れさまでした。



開会式の様子



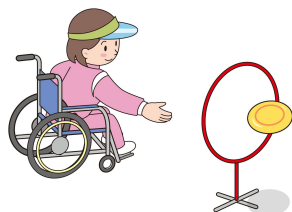
杉山会長 始投式



原Y,s監修のメダル



ゲーム開始！



伊東クラブの皆さんと

いにしへの八重桜、未来に咲けるか

大割 克美

「いにしへの 奈良の都の 八重桜 けふ九重に にほひぬるかな」

平安時代の歌人・伊勢大輔は、かつて奈良に咲いていた八重桜が、時代を経て京都の宮中に美しく咲いていることを讃えた。移りゆく都と変わらぬ自然の美を、優雅に詠み上げたこの詩は、いま現在において、別の意味を持って響く。

春、日本中を彩る桜。その代表格であるソメイヨシノは、実は「クローン」の樹であることをご存知だろうか。江戸時代末期に人工交配で生まれたソメイヨシノは、自ら種をつくることができず、接ぎ木でのみ増やされてきた。つまり、どの木も“同一遺伝子”を持ち、寿命も短い。現在各地のソメイヨシノが老木化し、一斉に寿命を迎えつつあるのだ。

ここに追い打ちをかけているのが、気候変動である。開花時期の前倒し・気温の不安定化・大雨や突風による被害。環境ストレスに弱いソメイヨシノにとって、これは大きな脅威となっている。まさに「けふ九重に にほひぬるかな」と咲き誇るその美しさの裏で、未来に種を繋げられない、静かな危機が進行している。

しかし希望もある。近年、種をつくれる品種への切り替えや、山桜・八重桜など多様な桜の保全活動が始まっている。「桜＝ソメイヨシノ」という常識を問い直し、次の世代に“咲く桜”を残そうという取り組みだ。それは、いにしへの八重桜が、時を越えて都で咲き続けたように、自然の循環と多様性を大切にしようという意思の表れだ。

今の私たちが抱く“花を愛でる心”が、本物の未来志向に変わるとき、千年後にもまた、誰かがこの和歌を口ずさみながら、桜を見上げているかもしれない。



大割Y.s お母様 画

